

2021年11月号

馬場川新聞

あなたも「めぶく。」しませんか？



社会実験に見える未来

馬場川通りを歩行者天国にして、
みんなで楽しんでみた！

2021年10月30日(土)31日(日)に馬場川通りを一部車両規制して歩行者空間の高質化を検証する社会実験「馬場川パーク」を実施しました。現在、2023年秋の馬場川通り遊歩道公園の改修に向け、官民連携で整備計画が進んでいます。この計画は「前橋市アーバンデザイン」の牽引プロジェクトと位置付けられ、通常の公共工事と違い住民や市民が参加して通りの将来像を作っていくプロジェクト。2021年6月から準備委員会が立ち上がり、住民、商店街、高校生、大学生、社会人、主婦、シニアなど、立場も年齢も違う方が100人以上が登録して、準備を進めてきました。

その中で、準備委員会から「自分達のアイデアを実践してみたい」という声が上がリ、社会実験として週末の土日、馬場川通りを一部通行止めの歩行者天国にして、公園として活用してみることに。それが今回の「馬場川パーク」です。決して広くはない馬場川通りですが、周辺には大きな施設やアーケードがあり、人々が交錯し出合いを誘発できる可能性を持ったステキな立地です。2日間の社会実験では「ゆるく、つながる」をコンセプトに「馬場川通りで、市民同志の新しい出合いが生まれるか？」を検証。今後の馬場川通り遊歩道公園の設計プランや改修後の地域活動へとつなげていきます。

「馬場川パーク」は4つのエリアで展開！



KIDSエリアでは、ストリートアートワークショップや、あおぞらこども図書館など親子で楽しめるプログラムが目白押し！



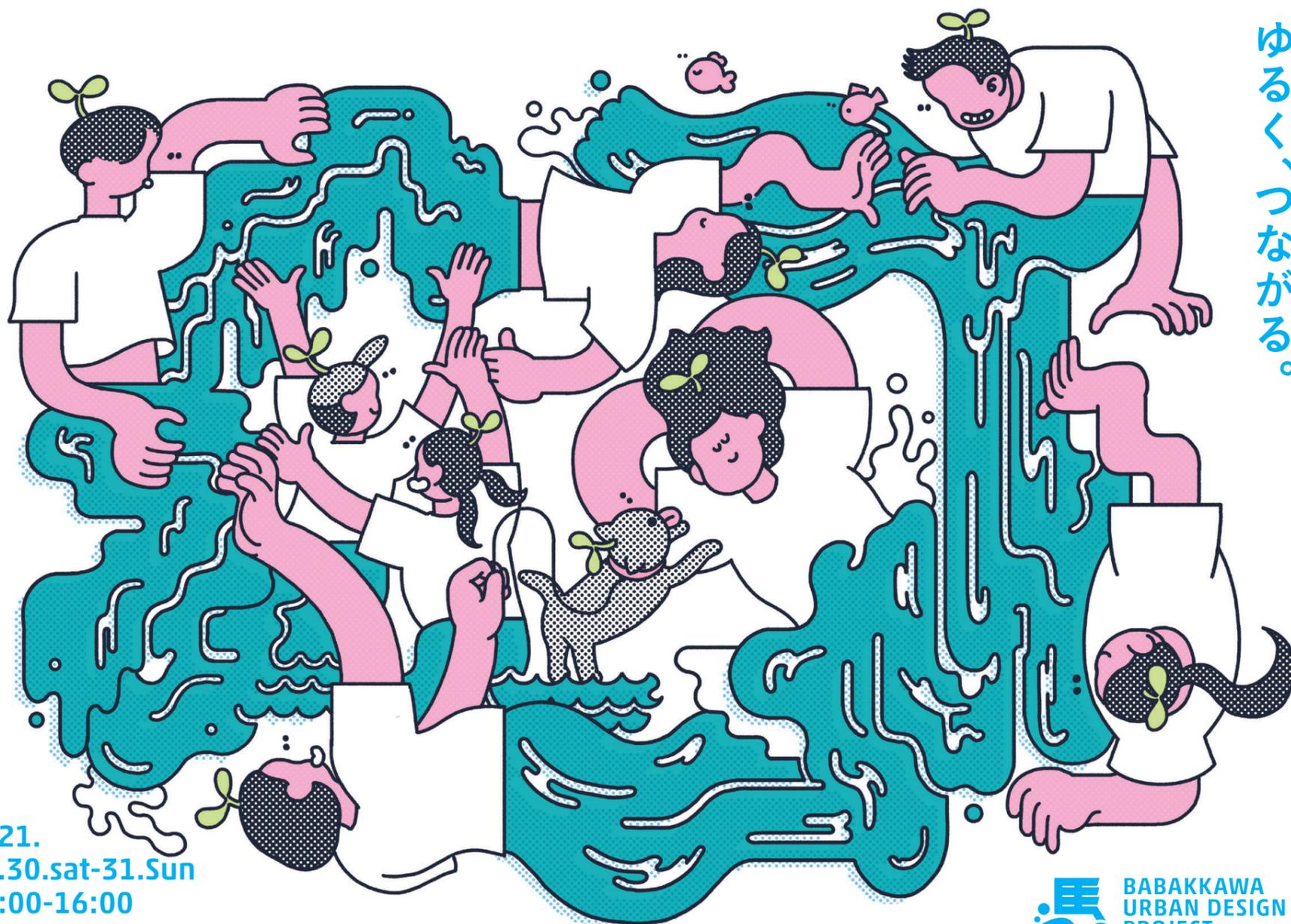
PETエリアでは、スペシャル花壇のフォトスポット設置や、マナー啓蒙のためのペットボトルウォーターの配布も！



MUSICエリアでは、「水と緑と音楽と」をテーマにシロウト&セミプロも入り混じって楽しく盛り上がる！



MARCHEエリアには、馬場川通り自慢のお店や「これから出店したい！」と頑張っているチャレンジショップが屋台に！



ゆるく、つながる。

2021.
10.30.sat-31.Sun
11:00-16:00
@BABAKKAWA St.

BABAKKAWA
URBAN DESIGN
PROJECT

馬 PARK

BABAKAWA URBAN DESIGN PROJECT

つながる屋台がズラリ！「MARCHEエリア」



クラフト、グルメ、多彩な屋台が1日5台づつ出店。店主さんとの会話がはずみます。

親子で楽しめる「KIDSエリア」



アーケードに遊具を持ち出して「まちなか公園」に。中央イベント広場の「まめじどうしゃ」も大人気！



水と緑と音楽の「MUSICエリア」



プロを目指すミュージシャンも参加。サクソとピアノのきれいなハーモニーにうっとり。



ノリノリの会場を作ってくれたDJ。商店街の名物姉妹も登場、ステキなピアノ演奏を。



観客もリラックスしながら、ゆるい感じで楽しみました。大学生バンドも久々のステージ。



水と緑と音楽の「PETエリア」



ペットと一緒に写真が撮れるフォトスポットを設置。「お名前は？」「お利口さんですね」ペットから始まる自然な「つながり」。

遊具 (まちなか研究室)

前橋中央通りアーケードのあちこちに遊具が出現！いつもと違うお友達とも仲良くなれるかも。(協力: 有限会社黒田人形店)

ストリートミュージック

水と緑と音楽と。馬場川を音楽・エンターテインメント発信の場にしてしまおう。シロウト&セミプロも入り混じって、馬場川をステキに楽しく盛り上げてくれます。

ステージプログラム

10.30.sat

- 12:00 アマトゥーリ【ピアノ&ウクレレ】
- 12:40 まかまか & キャナ【ウクレレ演奏】
- 13:20 パフォーマー caseK【ジャグリング】
- 14:00 奥田ゼミ【バンド】
- 14:40 高校生です。【ギター弾き語り】
- 15:20 サクソフォン・ミニ・コンサート【サクソ演奏】

10.31.sun

- 12:00 未定
- 12:40 サクソフォン・ミニ・コンサート【サクソ演奏】
- 13:20 岡本【ピアノ】
- 14:00 Memory Maker【DJ】
- 14:40 Si04_music【歌】
- 15:20 ベニフク【ピアノ】

勢多農高の皆さんが、この日のために、ロゴを模したフラワーアレンジメントの作品を作ってくれました。



試飲も大人気のコーヒー豆など、マルシェは新しいお客さんとの出会いの場。

共愛学園前橋国際大の学生が運営する仮想企業「繭美蚕（まゆみさん）」も出店。撤収作業も手伝ってくれて、感謝！



地元出身のイラストレーター「サイトウアケミ」さんの下絵に、みんなでチョークで描き加えて 25m 超えの超大作に！



普段は奥まった所にあるお店も、通りに出てきてお弁当を販売。

ちょうどハロウィンだったので、お花に囲まれてこんな可愛いグッズも販売。

（ケード下）



みんなに「こんな馬場川通りになったらいいな」というメッセージを書いてもらった付箋でモザイクアートに！



ペットのおしっこを流す水をペットボトルで配布して、マナーアップを。

前橋こども図書館のご協力で「あおぞらこども図書館」を。不要になった本を集めて、無料でお子さんに提供！

大好評で終了！収穫も多かった第1回の社会実験

設計コンセプト説明会と実物大モデル検証を実施

馬場川パークの社会実験に合わせて事前に関係者の方にお声かけて、馬場川通り遊歩道公園の改修設計の進捗についての説明会を実施しました。その後、場所を移動して設計プランの「実物大モデル」を体感していただきました。馬場川に木製のデッキを張り出してベンチを設置し、馬場川通りの魅力である「水」を感じてもらい親水空間を創出するという考えです。この実物大モデルは、関係者だけでなく馬場川パークに訪れたお友達同士、カップルや親子連れなど色々な方に感想をいただきました。関係者の皆さんのご意見とともに、それらの感想は今後の改修工事の設計にしっかりと反映したいと考えます。



小さいお子様と一緒に親子連れには、親水空間の安全性についてもうかがいました。

夜は樹木とベンチをライトアップ。カウンターもつけて大人な空間を演出しました。



パーク各所でストリートファニチャーが大活躍



馬場川パークに向けて準備委員会のメンバーが馬場川の魅力を引き出すためのストリートファニチャーをDIYしました。物流に使うパレットの廃材をアップサイクルして、屋台、ベンチ、椅子を準備しました。「MARCHEエリア」に並んだ「つながる屋台」はパレット2枚を繋げて立てたもの。ほかにもパレットを細切りにして、余った板を足にした椅子「馬場川のウマ」、パレットを切断して3段重ねた「つながるベンチ」。一人でもラクラク運べるので、パークの各所に配置しました。椅子やベンチは、休憩にもぴったり。ちょっと小さめなので距離が縮まって仲良くなれそうですね。



見えた未来! 第1回 社会実験の成果とは？

まず顕著な人流増加効果が得られました。当日は、いつもの約2.5倍、開催後も開催前に比べて約1.5倍に増えました。来訪者の多くは県内の20~40代のファミリー層でしたが、ふだん馬場川を訪れない層も多く、社会実験がエリア回遊のきっかけに。特にキッズエリア、マルシェエリア、歩行者天国、ストリートファニチャーは高い評価が得られました。今回得られた成果を参考にしながら、今後はベースとなる人流を増やすためにもイベントなどの社会実験を継続していくことが大切になります。

土日の人流増加の効果

当日 **258%** ▶ 翌週 **145%** ▶ 翌々週 **128%**



MDC
Maebashi Design Commission